LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE

Publication number: JP4056822

Publication date:

1992-02-24

Inventor:

KAWATE FUKASHI SEIKO EPSON CORP

Applicant: Classification:

- international:

G02F1/1333; G02F1/1335; G02F1/13357; G02F1/1345;

G09F9/00; G02F1/13; G09F9/00; (IPC1-7):

G02F1/1333; G02F1/1335; G02F1/1345; G09F9/00

- European:

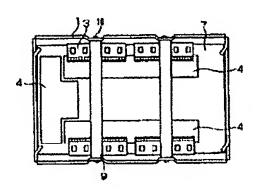
Application number: JP19900165333 19900622 Priority number(s): JP19900165333 19900622

Report a data error here

Abstract of JP4056822

PURPOSE:To allow the liquid crystal display device to sufficiently resist vibration and shock by arranging plural reinforcing frames engaged with a holding frame on the back side of a backlight unit. CONSTITUTION:The reinforcing frames 9 engaged with the holding frame 1 for holding a liquid crystal panel 2 and the backlight unit are arranged on the back side of the backlight unit. The frames 9 are fixed to the frame 1 with screws 10 so as to hold the panel 2 ad the backlight unit from the back of a liquid crystal module. Since the reinforcing frame 9 is fixed to the back of the module, a lap top personal computer, a note personal computer or the like can sufficiently resist vibration/shock due to its carrying or the like.





Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

® 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-56822

®Int. Cl. 5	識別記号	庁内整理番号	② 公開	平成 4年(1992) 2月24日
G 02 F 1/1333 1/1335 1/1345	5 3 0	8806-2K 7724-2K 9018-2K		
G 09 F 9/00	3 5 3	6447-5G 審査請求	未請求	情求項の数 1 (全4頁)

図発明の名称 液晶表示装置

②特 願 平2-165333

図出 願 平2(1990)6月22日

@発 明 者 川 手

深 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式

会补内

の出 願 人 セイコーエブソン株式

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

個代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

液晶表示装置

2. 特許請求の範囲

液晶パネル駆動用のLSIを搭載したフイルムキャリアと該フイルムキャリアへの信号供給用の回路基板を備えた液晶パネルと、 導光体のサイドに冷陰極管を備えたバックライトユニットを保持するフレームと、 前記パックライトユニットを保持面側で前記フレームと係合し配設された補強フレムとを有することを特徴とする液晶表示装置。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は文字図形を表示して、 情報端末として 利用する液晶表示装置に関するものである。 [従来の技術] 近年、液晶パネルに駆動用のLSIやバックライトユニット等が配設された液晶表示モジュールは、以前にも増して薄型、軽量かつ高輝度バックライトのニーズが高くなってきている。 しかし従来の構造では、 薄型軽量には出来るもののその反面、 構造体としてはその母体となるものの削性が低く、 削性面では弱く、 満足できるものではなかった。

以下従来の構造について簡単な説明を行う。

第3図(a)は従来の液晶表示モジュールの断面図で、第3図(b)は、背面図である。

ブラスチックガイドでの上に冷陰極管6を取り付けた導光体5で構成されるパックライトユニットを乗せ、その上に、シリコンゴム8をスペーサーとし、チッブオン・フレキシブル・テーブ(以下COFと略す。)3と回路基板4を取付たでの下と略す。)3と回路基板4を取付たCOFと略す。3を曲げ、回路基板4を導光体5にセットしてある。しかしこの構造では、ねじれ、衝撃に対しる。

プラスチックガイド 7 および導光体 5 は 1 m m ~ 2 m m と 薄いため、 背面部が膨らんでしまうという欠点を有している。

[発明が解決しようとする課題]

本発明の液晶表示装置は、液晶パネル駆動用の LSIを搭載したフイルムキャリアと該フイルム キャリアへの信号供給用の回路基板を備えた液晶 パネルと、 導光体のサイドに冷陰極管を備えたバックライトユニットと、 前記液晶 パネルと 節記 がい クライトユニットの背面側で前記フレームとを 合し配設された補強フレームとを有することを特

ュールの断面図であり、第2図(b)は背面図である。構成は実施例1と同様であるが、補強フレーム9は強度、 剛性を上げるために一体化されており、 バックライト ユニットもできる限り広い面積で補強フレーム9により保持される。 又補強フレーム9とフレーム1と接続される。 補強フレーム9自体の剛性を高くするため、 補強フレーム9的所にリブ打ち12を施してある。

これにより、 液晶 パネル 2 と バックライトユニットをサンドイッチ する構成となり、 高 剛性 であり、 補強フレーム 9 により バック ライトユニットの固定も兼ねる。

[発明の効果]

以上述べたように本発明によれば、液晶モジュール背面に補強フレームを設けることにより、 海型液晶モジュールにおいて高剛性で、 振動、 衝撃にも充分耐えうることができ、 補強フレームによりバックライトとの固定も兼ねる、 という効果を有する。

徴とする。

[実施例1]

第1図(a)は本発明の実施例1における液晶 モジュールの断面図で、第1図(b)は背面図で ある。

[実施例2]

第2図(a)は本実施例2における、液晶モジ

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)は本発明の実施例1における液晶表示モジュールの断面図、第1図(b)は実施例1における液晶モジュールの背面図、第2図(a)は本発明の実施例2に置ける液晶表示モジュールの断面図、第2図(b)は従来の液晶モジュールの背面図、第3図(b)は従来の液晶モジュールの背面図である。

1 · · · フレーム, 2 · · · 液晶パネル

3 · · · C O F. 4 · · · 回路基板

5・・・導光体, 6・・・冷陰極管

フ・・・ブラスチックガイド

8・・・シリコンゴム、9・・・補強フレーム

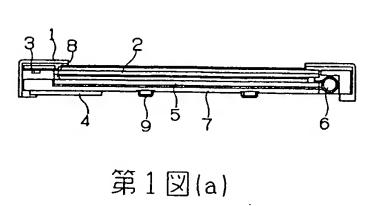
10・・・ネジ, 11・・・爪

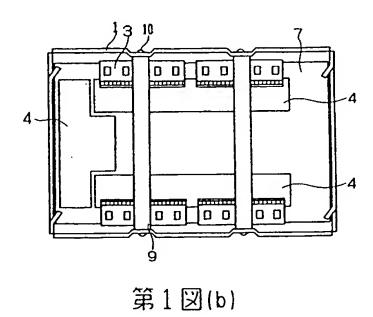
12・・・リブ打ち

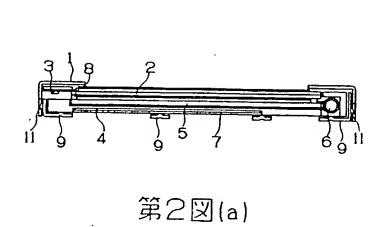
以上

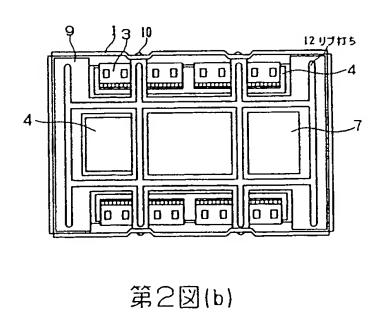
出願人 セイコーエブソン株式会社 代理人 弁理士 鈴木 客三郎他1名

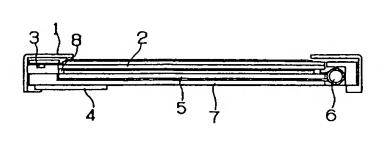
特開平4-56822(3)



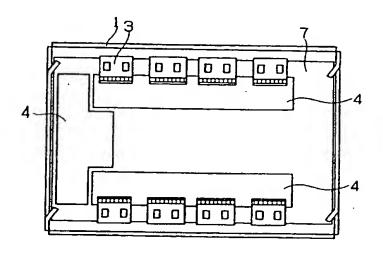








第3図(a)



第3図(b)